

2017年祈りと断食のガイド

1月9日～13日

神を知る



EVERY NATION

神を知る

ジム・ラフーン



Everynation.org/fasting #ENfast2017

目次

序文.....	1
祈りと断食の実践的ガイド.....	2
2016年にあった祈りの答え.....	4
2017年の信仰による目標.....	5
0日目：聖書と神の力.....	6
一日目：救いの井戸.....	8
二日目：聖霊のメス.....	12
三日目：聖霊によって祈る.....	16
四日目：御霊の与える剣.....	19
五日目：神の声を聞く.....	22
国々のために祈る（地図と祈りのポイント）.....	27

著者について



ジム・ラフーン師はエブリネイション・スクール・オブ・エンパワーメントの国際代表であり、エブリネイションの国際的使徒チームと北米リーダーシップチームにおいて仕えている。広範囲にわたり行き来し、キリストのからだに教え預言的にミニストリーしている。「私たちの日々のブログ (*Our Daily Blog*)」、「神との同盟 (*Divine Alliance*)」、そして「本物のコミュニティを建て上げる (*Building Authentic Community*)」の著者でもある。妻キャシーと結婚36年目を迎え、7人の子供がいる。

序論

断食は嫌だが、とにかくする

始めたのが何年だったか、だれの案だったか覚えていませんが（おそらくマニラのマニー・カルロス師だったと思う一確かに私ではない）、私が覚えているのは、エブリネイションが毎年祈り、断食そして聖別の一週間をもってその年を始めたということです。

その週は一年のうちで大好きでもあり嫌いでもある週でもあります。というのは、私は断食は嫌いですが、断食の結果が大好きだからです。

何年にもわたって、救い、いやし、経済の備え、中毒からの解放、事業の好転、仕事での昇進、明確な方向性、そして人間関係の回復といった数えきれないほどの証を聞いてきました。それらはその聖別の週に祈った祈りの答えの結果です。

神は今でも祈りを聞き、答えてくださるので、2017年も同じであると私は知っています。

そのため、1月9日～13日に、私たちはヨエル1:14「断食の布告をし、きよめの集会のふれを出せ。長老たちとこの国に住むすべての者を、あなたがたの神、主の宮に集め、主に向かって叫ぶのです。

世界中にいる何千ものエブリネイションの人々とともに毎日祈りましょう。神が私たちの家庭、国々、そして世界を変革してくださると信じてくださってありがとうございます。



スティーブ・ミュラー
エブリネイションチャーチズ＆ミニストリーズ代表

祈りと断食の実践的ガイド

断食の計画

ヨシュアは民に言った。「あなたがたの身をきよめなさい。あす、主が、あなたがたのうちで不思議を行われるから。」

ヨシュア 3:5

祈る－断食の前に聖書を読む。祈りにおいて、聖霊に導きを求める。4ページと5ページに自分の信仰による目標と、2016年にあった祈りの答えを書き留める。

コミットする－どんな断食をするかについて祈り、前もってそれにコミットする。その日その日に決めるということはしない。神に恵みを求める。

実践する－断食の数日前から食べる量を少なくし始める。糖分と脂質が多い食べ物を避ける。断食の週は身体的、社交的活動を制限するよう計画する。だれかに自分の祈りのパートナーとなり、断食の間支えてもらうようお願ひする。

注：特に妊娠中、授乳中、あるいは薬を服用中の場合は、医者に相談してください。もしあなたの状況によって完全に断食できない場合は、自分に何がベストであるかを決めてください。

断食中

イエスは答えて言われた。「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる』と書いてある。」

マタイ 4:4

焦点－デボーションをする時間をとる。神のみことばと聖霊の導きに応答する準備をする。

祈る－自分の地域教会の祈り会に少なくとも一回参加する。その週、自分の家族、教会、牧師、国、キャンパスと宣教のためにとりなしをする。

補充する－通常の食事の時間に、聖書を読み祈る。水をたくさん飲み、できる限り休む。一時的に身体的疲れと精神的に短気になったりいらだつたりすることがあることを知っておく。

断食を終える

そのとき、あなたが呼ぶと、主は答え、あなたが叫ぶと、「わたしはここにいる」と仰せられる。

イザヤ 58:9

食べる—徐々に食べる。あなたの身体は、通常の食事をとるために調整する時間が必要である。果物、ジュースやサラダから始め、野菜を加えていく。一日を通して少量食べるようとする。

祈る—あきらめないで！神の忠実さとタイミングに信頼する。あなたが新たに発見した神への情熱を一年を通して持ち続けるように。自分の祈りに神が答えてくださると信仰を持つ。

一日目 _____	二日目 _____
断食のオプション <input type="radio"/> 水のみ <input type="radio"/> 液体のみ <input type="radio"/> 一食のみ <input type="radio"/> その他 _____	断食のオプション <input type="radio"/> 水のみ <input type="radio"/> 液体のみ <input type="radio"/> 一食のみ <input type="radio"/> その他 _____
三日目 _____	四日目 _____
断食のオプション <input type="radio"/> 水のみ <input type="radio"/> 液体のみ <input type="radio"/> 一食のみ <input type="radio"/> その他 _____	断食のオプション <input type="radio"/> 水のみ <input type="radio"/> 液体のみ <input type="radio"/> 一食のみ <input type="radio"/> その他 _____
五日目 _____	祈りの時間 _____ 何時に、どれだけ祈るつもりかを書く _____
断食のオプション <input type="radio"/> 水のみ <input type="radio"/> 液体のみ <input type="radio"/> 一食のみ <input type="radio"/> その他 _____	_____

神様に感謝していること

2016 年にきかれた祈り

2016 年にあったすばらしいこと、祈りの答え、学んだ教訓を書く。

神様の忠実さ、備えと恵みが今年もあることに感謝する！

2017年、私は神様が次のことをしてくださると信じる

信仰による個人的目標

靈的リバイバル・身体のいやし・繁栄と豊かさ・寛大さ

私の家族

関係の回復・家族の救い

私の学校／仕事

優秀さ・昇進

私の奉仕

スマールグループの成長・同僚、クラスメート、上司、部下の救い

私の祈りのパートナー

聖書と神の力

0日目

読む マタイ 22:23～

33

しかし、イエスは彼らに答えて言われた。「そんな思い違いをしているのは、聖書も神の力も知らないからです。」

マタイ 22:29

死者の復活はないと言っているサドカイ人（ユダヤ教の祭司階級）の何人かが、死者の復活について質問することでイエスをはじめようとした。彼らはユダヤ教の律法に基づいたシナリオをイエスにつきだしました。その律法とは、自分の兄の子のないやもめをめとらなければならないというものでした。そしてその二人の間にできた子は死亡した兄の子として認められ、それによって彼の家系が彼の死によって途絶えることがないようにするものでした。

本質的に、サドカイ人はイエスに、もしやもめが同じ家系の兄弟たちと7回結婚したら、天国では彼女はだれの妻となるのか、と尋ねたのです。「そんな思い違いをしているのは、聖書も神の力も知らないからです。」（マタイ 22:29）というイエスの時代を超越した答えは、今日でもいまだに適切なものです。つまり、彼らがつきだした仮説のシナリオは、彼らが脇道にそれ欺かれていたという事実の現れだったのです。なぜなら、彼らは聖書と神の力の両方を誤解していたからです。

マタイ 22:29 の「思い違いをしている」という言葉は、原語ではとても力強い言葉です。それは「欺かれ、脇道にそれ、あるいはさまよっている」という意味です。悲劇的なことに、私はあまりにも多くの善意のクリスチヤンが、神のみことばを理解し損ない、あるいは神の力を体験し損なったために脇道にそれでいるのをいまだに見ていました。

この欺きはめったに神学的なもの（サドカイ人の神学のように）ではないにもかかわらず、その結果はそれでも破壊的なものとなりうるのです。クリスチヤンの中には、赦しなさいという聖書の命令の意味を完全につかむことができないために、苦々しさによって滅ぼされてしまう人もいます。あるいは、もしかしたら彼らは神の復活の力を充当するために必要な理解にかけているために、絶えず暗闇と絶望の中に生きているのです。

あなたが今日どのような場所にいようと、あなたと共に、聖書と神の力の両方をより深く理解する六日間の旅を始めたいです。共に旅する中で、神のみことばのより深い理解を得、神の力強い

力を新鮮に得るために必要なスキルを得ることを目的としたいくつかのエクササイズを紹介します。

また、聖霊が、あなたがこれらの新しいスキルを自分の人生において変わることを抵抗している領域にあてはめることを助けてくださいますように。最後に、私たちは、世界中からよせられた具体的な祈りのリクエストに焦点を当て、世界中の何千もの私たちの兄弟姉妹たちと共に祈ります。

当てはめる

- あなたの人生で最も変わることを抵抗している具体的な領域、またはパターンは何ですか。それを書き出してください。この五日間でこの領域／パターンに聖書と神の力をもたらしましょう。

- 断食は素晴らしいのですが、祈らなければその効力を失います。神は私たちが一日を神とともに始めることを愛していると聖書にはっきりと書かれていますが、その時間をとらないよりはどんな時間でもとるほうがいいです。毎日あなたはどの時間に祈りたいですか。その時間にどのくらい祈りたいと思いますか。

覚えておいてください：大それた目標を立てなくていいのです。実践的で現実的なものとしてください。計画するうえで、3ページのスケジュールを参考にしてください。

- あなたの牧師の名前は何ですか。彼、または彼女は結婚していますか。もし彼、または彼女が結婚しているなら、子供はいますか。彼らの名前を書き出してください。あなたの牧師と、彼または彼女の家族のために毎日祈る時間をとってください。

- あなたの地域教会または会衆から、どのような特別なリクエストがありますか。受けたリクエストを書き出してください。

- 世界中のエブリネイションの六つの地域のために祈る時間をとります。毎日、一つの地域を選び、聖霊に祈りを導いてください。

明日は、私たちの新しい性質の複雑さのいくつかと一緒にみていきます。神のいのちと力の新しい段階を適用するために必要ないいくつかの実践を新たな見方でみます。

救いの井戸

一日目

下記のみことばを読む前に、私たちが自分の人生にあてはめることができます。神のいのちと力の新しい段階を適用するために必要ないいくつかの実践を新たな見方でみます。

読む イザヤ 12:3～4 ヨハネ 4:1～

42

イエスは答えて言われた。「この水を飲む者はだれでも、また渴きます。しかし、わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渴くことがありません。わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。」

ヨハネ 4:13～14

イエスは歴史的場所にいました。それはヤコブが自分の家族に水を与えたまさにその井戸でした。サマリヤ人とユダヤ人との間には、何世紀にもわたり憎しみと誤解がありました。イエスは、自分たちの民族性と憎しみのゆえに天の父のサマリヤ人への愛を完全に気づかなかつたご自身の弟子たちと違い、この人々が真に心を開いていることに気づいていました。

イエスは疲れていたにもかかわらず、弟子たちと昼食をとることをしませんでした。御父のやさしい導きによってサマリヤを通って行ったことで、イエスの鋭い靈的な感覚はより高い気づきの場へともたらしました。イエスはその靈的に枯渇した土地に井戸を開くために行つたのです。その地は、イエスと御父を除いてすべての人に忘れられた地でした。その井戸はヤコブの有名な井戸ではなく、碎かれた人生のがれきの中に深く埋められた井戸でした。

イエスの選びは、その町全体の救いの井戸とはなりそうもない候補者でした。彼女は5回結婚したことがあり、夫ではない男性と共に暮らしていました。彼女は恥意識があまりにも強かつたため、その町の他の女性たちから拒絶されることを避けるために、一日で最も暑いときに井戸に来ていました。それでありながら、この絶好の出会いと思えるようなこの出来事を通して、その井戸にいたこの悪名高い女性は、井戸をもつた女性となつたのです。

イエスの彼女への最初の言葉「私に水を飲ませてください。」（ヨハネ4:7）は、少しイエスらしくないように思えます。なぜイエスは、このあわれで碎かれた女性にご自身に仕えるよう尋ねられたのでしょうか。確かにイエスは、男性でありまたユダヤ人であるイエスに対して彼女が感じた憎しみはもちろん、男性たちの手によって受けた虐待に気づいていました。しかし、現実には、イエスの要求は約束だったのです。というのは、その日が終わる前までに彼女が飲み物を得ただけなく、彼女がその飲み物となつたからです。

イエスの言葉によって彼女が徐々にやわらいでいく中で、イエスは彼女に永遠に渴くことのない生ける水を与えることを約束されました。11節にある彼女の応答「その生ける水をどこから手にお入れになるのですか。」に、彼女が非常に渴いていたことがあらわれています。イエスの答えには、神の力といのちを受け取るうえで最も重要な側面の一つがあらわされています。「わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。」（ヨハネ4:14）ここで語られているうちなる泉または井戸は、すべての信者がキリストに信頼するとき受け取る新しい性質を隠喩しています。本質的には、あなたが生まれ変わった瞬間に、あなたの靈が神の靈と再び一つになったのです。この再統一によって、あなたの存在すべてが聖靈の力強い影響の下に入ったのです。新しい性質も持つという概念は、聖書を通して見られます：

だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

2コリント5:17

割礼を受けているか受けていないかは、大事なことではありません。大事なのは新しい創造です。

ガラテヤ6:15

この新しい性質は、神の生ける水があなたの人生に流れる水路です。私たちの中に神の水がどのように流れてくるかを理解するために、水道または家の水回りを考えてみてください。もし家に水道がないとしたら（この話の女性のように）、水をくむバケツか入れ物が神の生ける水を最もよく隠喩しています。あなたがこの水を得ることができるという事実にもかかわらず、あなたはそれを用いるために蛇口をひねら（またはバケツでくま）なければならないのです。

私たちの靈的な人生も同じです。私たちには水の供給に関して問題はありません。用いることに問題があるのです。私たちは単に靈的蛇口をひねっていないのです。ヨハネ4章で、イエスが話している生ける水は、飲むことを通して受け取るのです。ここでの飲むこととは、靈的訓練を通して神を礼拝するという概念と同意語です：

女は言った。「先生。あなたは預言者だと思います。私たちの父祖たちはこの山で礼拝しましたが、あなたがたは、礼拝すべき場所はエルサレムだと言われます。」イエスは彼女に言

われた。「わたしの言うことを信じなさい。あなたがたが父を礼拝するのは、この山でもなく、エルサレムでもない、そういう時が来ます。救いはユダヤ人から出るのですから、わたしたちは知つて礼拝していますが、あなたがたは知らないで礼拝しています。しかし、眞の礼拝者たちが靈とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。神は靈ですから、神を礼拝する者は、靈とまことによって礼拝しなければなりません。」

ヨハネ 4:19～24

私たちがどのような靈的訓練（聖書を読む、礼拝賛美、神を待ち望む等）を通して神を礼拝しようとも、その時、私たちの靈的蛇口が開き神から流れてくる生ける水を飲むことができるのです。神の臨在の中に長くいればいるほどそれだけ、私たちは神のいのち、力、臨在、そして喜びの中にひたるのであります。しかし、これらの靈的水は私たちの中にとどまる必要はないのです。井戸にいたその女性のように、もし十分に飲むなら、神のいのちの流れは私たちの周りの世界に変革をもたらす力としてあふれ流れていくのです。事実、救いの井戸（イザヤ 12:3～4 にあるように）から飲む究極の目的は、神の御名を宣言することを通してなされる国々の変革なのです。

さて、その町のサマリヤ人のうち多くの者が、「あの方は、私がしたこと全部を私に言った。」と証言したその女のことばによってイエスを信じた。そこで、サマリヤ人たちはイエスのところに来たとき、自分たちのところに滞在してくださるように願った。そこでイエスは二日間そこに滞在された。そして、さらに多くの人々が、イエスのことばによって信じた。そして彼らはその女に言った。「もう私たちは、あなたが話したことによって信じているではありません。自分で聞いて、この方がほんとうに世の救い主だと知っているのです。」

ヨハネ 4:39～42

当てはめる

救いの井戸から長く飲むときです。思い出してください。あなたが改心した瞬間、あなたの靈は聖靈と再び一つになり、あなたの中に新しい性質が造されました。今、あなたが靈的訓練の一つを行うたびに、黙示録 22:1～2 にあるまさにそのいのちの水があなたの中に靈的に流れ入ってくるのです。

御使いはまた、私に水晶のように光るいのちの水の川を見せた。それは神と子羊との御座から出て、都の大通りの中央を流れていた。川の両岸には、いのちの木があって、十二種の実があり、毎月、実ができた。また、その木の葉は諸国の民をいやした。

黙示録 22:1～2

みことばを選んでください。あなたの現在の必要、聖霊からの示し、最近聞いたメッセージ、または自分の聖書通読表から自由にとって選んでください。今日の目的のために、ヨハネ 4:23～24 を使いましょう：

「しかし、眞の礼拝者たちが靈とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。神は靈ですから、神を礼拝する者は、靈とまことによって礼拝しなければなりません。」

ヨハネ 4:23～24

この聖書の箇所を数回声に出て読んでください。もし公の場にいるなら、つぶやいてください。声にだして読むことによって祈りへと移行していきましょう。これらのみことばを祈り始めましょう。祈るとき、手をあげましょう。自分の母国語、また（もし異言の賜物をいただいているなら）異言でメロディをもって神をほめたたえ感謝をささげ始めましょう。静まって待つとき、神の生ける水によってあなたの魂を洗っていただきましょう。今、あなたが持っている重荷を声に出て言うときです。

祈る

- あなたの牧師と彼、または彼女の家族のために祈りましょう。
 - あなたの教会のために祈りましょう。
 - 27 ページにあるエブリネイションの六つの地域のうち、一つの地域のために祈りましょう。
 - あなたが昨日的に定めた抵抗している領域が変革されるように聖霊に願いましょう。
 - 聖霊からいただいた、いかなる関連した思い、みことばや印象を書き留めましょう。
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

明日は、あなたの人生を変革する聖書の力についてみていきます。

聖霊のメス

二日目

読む 黙示録 1:16 ヘブル 4:12～

13

また、右手に七つの星を持ち、口からは鋭い両刃の剣が出ており、顔は強く照り輝く太陽のようであった。

黙示録 1:16

神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと靈、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。造られたもので、神の前で隠れおおせるものは何一つなく、神の目には、すべてが裸であり、さらけ出されています。私たちはこの神に対して弁明をするのです。

ヘブル 4:12～13

黙示録 1:16 で、イエスは口から鋭い両刃の剣が出ている姿で（パトモス島で）ヨハネにあらわされました。私たちはヘブル 4:12 から、その鋭い剣は神にみことばをあらわしているとわかります。ヘブル 4:12において、その両刃の剣は刺し通す力とその鋭さをあらわしています。また、その剣の一方の刃は自分の肉のためであり、もう一方は私の靈的敵のためであるという見方も助けになることを見出しました。今回のデボーションで、私たちは私たちの肉のためのその剣の刃に焦点を置きます。外科のメスのようなものとして聖書を用いるということです。

ヘブル 4:12～13 で、神のことばは生きていて、力があり（効果があり、エネルギーである）、より鋭い（切る）と表現されています。とても鋭いので、私たちの存在のまさに深みにまで刺し通す（貫通する）ことができ、神のことばは鋭利であり、決定的なです。鋭利であるのは、神のことばは私たちのたましいと靈の微妙な違いを見分けることができるゆえであり、決定的であるのは、どんな罪や欺きも神のことばの刺し通す力から逃れることはできないからです。

聖霊は、私の人生において罪深いパターンをあらわし、取り扱うために、みことばを外科のメスとして用いてこられました。神のことばは、罪深さのパターンを隠した何枚もの層、それは厚かましい自己中心さから微妙なプライドにいたるまで、を容赦なく刺し通してきました。この同じ

力強いみことばは、私のたましいを患わせたうつや責めを受けていた時に燃え、私を絶望から救い出してくれました。

私にとって真実であり続けたことは、あなたにとっても真実なのです！ 聖霊と神の人々を通して、聖書はあなたが直面していることが何であれ、あらわし、いやし、取り扱うことができるのです。あなたは単に自分の人生にそれらをあてはめ続けていけばいいのです。読み(1 テモテ 4:13)、語り(マタイ 17:20)、聞き(ローマ 10:17)、口ずさむ(ヨシュア 1:8)ことを通して、聖書の力があなたの人生に解き放たれうるのである。

神のことばを私たちの人生にあてはめるすべての方法をここで話す時間はありませんが、聖書的に思いめぐらすスキルを実践するのに数分取りたいと思います。ヨハネ 6:57 にある、食べるという言葉は、神のことばを思いめぐらすことを力強く表現しています。私たちがキリストの生けることばをいただくとき、人としてのキリストの力といのちを食べる(かじり、かみくだく)のです。

「生ける父がわたしを遣わし、わたしが父によって生きているように、わたしを食べる者も、わたしによって生きるのです。」

ヨハネ 6:57

いのちを与えるのは御靈です。肉は何の益ももたらしません。わたしがあなたがたにはなしたことばは、靈であり、またいのちです。

ヨハネ 6:63

当てはめる

ここで私が選んだ思いめぐらす練習は、聖書的そして神経学的の両方を含んでいます。あなたの靈と右脳の両方に携わるようつくられています。あなたの神との体現された感情的な体験のほとんどは、あなたの右脳における脳の働きによって導かれています。

思いにおいて脳を用いて聖書を思いめぐらすこと

エドワード・B・デイヴィス博士とジム・ラフーン

次の練習は、聖霊があなたに語るうえで潜在的に変革をもたらす方法です。あなたの思考がゆっくりとなり、それによって主があなたの心に何を言わんとされているのかをよりはつきり聞くことができる手助けをするようつくられています。少なくとも 20 分かけてください。

- 気が散らない静かな場所を見つけてください。電話やソーシャルメディアのアクセスをオフにしましょう。

- 思いを静めてください。これはときに努力が必要になります。すでに思いの中にみことばがなければ、数回深呼吸をして、聖霊にご自身があなたに語りたい箇所へと導いてくださるよう願いましょう。あるいは、あなたが現在直面している必要に対応するみことばを選んでもよいです。（この練習の目的のため、イザヤ 61:1～7 を用います）

神である主の靈が、わたしの上にある。主はわたしに油をそそぎ、貧しい者に良い知らせを伝え、心の傷ついた者をいやすために、わたしを遣わされた。捕らわれ人には解放を、囚人には釈放を告げ、主の恵みの年と、われわれの神の復讐の日を告げ、すべての悲しむ者を慰め、シオンの悲しむ者たちに、灰の代わりに頭の飾りを、悲しみの代わりに喜びの油を、憂いの心の代わりに賛美の外套を着けさせるためである。彼らは、義の桺の木、栄光を現す主の植木と呼ばれよう。彼らは昔の廃墟を建て直し、先の荒れ跡を復興し、廃墟の町々、代々の荒れ跡を一新する。他国人は、あなたがたの羊の群れを飼うようになり、外国人が、あなたがたの農夫となり、ぶどう作りとなる。しかし、あなたがたは主の祭司となえられ、われわれの神に仕える者と呼ばれる。あなたがたは国々の力を食い尽くし、その富を誇る。あなたがたは恥に代えて、二倍のものを受ける。人々は侮辱に代えて、その分け前に喜び歌う。それゆえ、その国で二倍のものを所有し、とこしえの喜びが彼らのものとなる。

イザヤ 61:1～7

- この箇所から一節または何節かを選び、主にあなたがての力をあてた抵抗している領域に主の変革の力をもたらしてくださいと願います。
- 数回、その箇所を声に出してゆっくりと読みます。もう一度、ゆっくりと慎重に、いろいろな感情のレベル、イントネーション、リズムや強調を入れながら読みます。
- 次に、その箇所を、利き手でない方の手で、いろいろな色のマーカー、ペンやクレヨンで書きます。
- それから、その下、聖霊があなたに語っておられると思うことをあらわす絵を描きます。
- 聖霊があなたに語っていることについて、10分間祈りながら書き留めます。

この体験をクリスチャンの家族のメンバー、友人やリーダーに分かち合います。

この練習の理論的根拠

神との体現された感情的な体験のほとんどは、私たちの右脳の働きによって導かれています。これは私たちの体に神経的につながっています。私たちが神を体現された感情的なレベルでどのように体験するかを変えるために「共に発火する神経細胞は共に結合されている」（ヘブ 1949 年）ので、私たちは右脳と体において神経的活動と成長を刺激する（シーゲル 2007 年）必要があります。過度に知的方法で聖書を読むと、左脳（左脳は特に論理的、直線状、言語学的）の神経的活動と成長を刺激するだけになる傾向があります。それゆえ、神に関する頭の知識に変化をもたらすだけなのです。それとは対照的に、上記にある方法で聖書を読むと私たちの神との体現された感情的な体験において深いレベルで変化をもたらすことができるのです。特に、この練習は戦略的に右脳の神経的活動と成長を刺激するためにつくられており、それゆえ、私たちを「自動

「運転」から解放し、私たちの心に変革をもたらし、いのちを与える聖霊の言葉をよりよく聞くことができるようになります。

祈る

あなたの牧師、地域教会と世界の必要のために祈るときです。

- あなたの牧師と彼、または彼女の家族のために祈りましょう。
- あなたの教会のために祈りましょう。
- 27 ページにあるエブリネイションの六つの地域のうち、一つの地域のために祈りましょう。

断食三日目の明日は、御靈によって祈る力をみていきます。

参考

ヘブ, D. O. *The Organization of Behavior; Neuropsychological Theory*. New York: Wiley, 1949. N. pag. Print.

シーゲル, Daniel J. *The Mindful Brain: Reflection and Attunement in the Cultivation of Well-Being*. New York: W.W. Norton, 2007. Print.

聖霊によって祈る

三日目

読む ユダ 20～21 1 コリント 14:2～

16

しかし、愛する人々よ。あなたがたは、自分の持っている最も聖い信仰の上に自分自身を築き上げ、聖霊によって祈り、神の愛のうちに自分自身を保ち、永遠のいのちに至らせる、私たちの主イエス・キリストのあわれみを待ち望みなさい。

ユダ 20～21

ユダ 20 節は、聖霊によって祈るよう命じています。聖霊によって祈るとは、聖霊のインスピレーションとリーダーシップのもとに祈るということを意味します。新約聖書の中でこのことがなされた重要な方法の一つは異言の賜物を通してです。

異言を話す者は、人に話すのではなく、神に話すのです。というのは、だれも聞いていないのに、自分の靈で奥義を話すからです。… 異言を話す者は自分の徳を高めますが、預言する者は教会の徳を高めます。

1 コリント 14:2, 4

もし私が異言で祈るなら、私の靈は祈るが、私の知性は実を結ばないです。ではどうすればよいのでしょうか。私は靈において祈り、また知性においても祈りましょう。靈において賛美し、また知性においても賛美しましょう。そうでないと、あなたが靈において祝福しても、異言を知らない人々の座席に着いている人は、あなたの言っていることがわからないのですから、あなたの感謝について、どうしてアーメンと言えるでしょう。

1 コリント 14:14～16

異言を語ることは、人の異言や御使いの異言で話す能力のことです。(1 コリント 13:1 参照) この賜物はパウロにとってとても大切だったので、彼がコリントの教会が公の礼拝において異言を使うことについての誤りを正していたとき、彼は彼らに「私は、あなたがたのだれよりも多くの異言を話すことを神に感謝しています」(1 コリント 14:18) と言いました。その前の方でパウロは彼らに「私はあなたがたみなが異言を話すことを望んでいます」(1 コリント 14:5) とさえ言いました。なぜ異言の賜物はそれほどまでに重要なのでしょうか。

異言の重要性にはたくさんの理由がありますが、そのうちのいくつかだけをここで話したいと思います。まず第一に、1コリント14:14で、パウロは「もし私が異言で祈るなら、私の靈は祈るが、私の知性は実を結ばないので」と言いました。その章の2節でパウロは、人々が異言で祈るとき彼らは「靈で奥義を話す」と言いました。つまり、私たちが異言で祈るとき、聖靈が私たちの靈を通して、私たちが理解できない言葉で祈るのであります。ユダ20節で、私たちがそのように祈るとき、私たちの信仰が築き上げられると言っています。

異言で祈ることでどのように信仰が築き上げられるのでしょうか。まず第一に、あなたが理解できない言葉で祈るとき、あなたは信仰を働かせているのです。第二に（それでもっとも重要なことに）、異言で祈ることによって、神様とより効果的にコミュニケーションをとることができます。それはあなたがどのように祈ったらいいのか、あるいは何と言えばよいのかわからないときでさえそうです。ローマ8:26～27で、私たちがどのようなことに直面しているとも、私たちを通して完全に祈ってくださる聖靈の力を発見します。

御靈も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈つたらよいかわからないのですが、御靈ご自身が、言ひようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてくださいます。人間の心を探り窮める方は、御靈の思いが何かをよく知つておられます。なぜなら、御靈は、神のみこころに従つて、聖徒のためにとりなしをしてくださるからです。

ローマ8:26～27

「御靈ご自身が、言ひようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてくださいます」という箇所は1コリント14:2の「異言を話す者は、…靈で奥義を話す」と同じタイプの祈りであると、多くの学者が信じています。さらに、14節「もし私が異言で祈るなら、私の靈は祈るが、私の知性は実を結ばないので」と続きます。「言ひようもない」と訳されているギリシャ語の言葉は、「沈黙」または「言ひ表せない（言葉がない）」とも訳すことができます。私の意見では、もし二番目の定義である「言ひ表せない」という訳が使用されていたら、この箇所は、自分が感じたり直面したりしていることを言ひ表す言葉を見つけることができない、と表現されていたことでしょう。もしそれが正しければ、この箇所は異言について述べているということになります。

たとえこの箇所で述べられている「言ひ表すことのできない深いうめき」が具体的に異言のことを言っていないとしても、この箇所自体は、私たちを通してなされる聖靈の祈りがなぜ私たちの信仰を築き上げるかについて説明しています。神として、聖靈は私たちの願いと神の私たちへの願いの両方を完全に理解しておられます。それによって、聖靈は私たちが自分の必要性を理解できないときでさえ、私たちが何を必要としているかを完全に表現することができるのです。

異言で祈ることによって、神とのつながり、平安と信仰をそれほどまでに深く生み出すことができるるのはそのためです。使徒パウロが見出したように、異言で祈ることは非常に助けとなります。

私たちの心とたましいの苦悩や重荷を言葉に表すことができないとき、異言を話すことによって安堵を見出すことができるのです。聖霊が私たちの混乱や痛みを通り越していくとき、私たちは平安、喜びと信仰で新たに満たされるのです。

当てはめる

あなたは異言を話したことありますか。使徒の働き 10:45~46 から、異言を話すことは聖霊のバプテスマを受けたことの第一のしるしであるとわかります。聖霊のバプテスマは、普通は私たちがキリストに改心したときとは別のときに、またそれに続いて起こる、聖霊の力に満たされることです。

もしかしたら、あなたは聖霊のバプテスマを受けたことがないかもしれません。普通は、他の信者が私たちに按手して祈ることを通して受けますが、祈っているときに神が聖霊の力を単に注がれるときもあります。もしあなたが異言を話したことがないなら、聖霊のバプテスマを主に願いましょう。もしそれを受けなければ、あなたの教会のリーダーに、聖霊のバプテスマを受けたい旨を伝えましょう。

祈る

- 手をあげ、少なくとも二分間、異言で祈り始めましょう。（長いこと異言で祈っていなければ、二分でさえ永遠のように感じるでしょう。）
- 异言で祈るとき、三つのことに焦点を当ててください。まず第一に、（あなたの母国語で）あなたが的に定めた抵抗している領域を声に出して言います。そのあとで、90秒間そのことのために異言で祈ります。第二に、祈るが難しい傷んでいる領域、または状況を選びます。そのことについてもまた90秒間異言で祈ります。祈っているときに、人や状況を想像することが助けになるでしょう。第三に、あなたの牧師と、彼または彼女の家族について90秒間異言で祈ります。
- あなたの地域教会と、今日選んだエブリネイションの地域のために二分間祈ります。祈った後、あなたに出会ってくださったことを神に感謝しながら、異言で一分間静かに礼拝します。手をあげ、神の平安と喜びがあなたのたましいにいきわたるのをゆるしましょう。

明日は、靈的戦いにおいて最も重要な武器の一つである、御霊の与える剣についてみていきます。

御靈の与える剣

四日目

読む エペソ 6:17 マタイ 4:3～10

救いのかぶとをかぶり、また御靈の与える剣である、神のことばを受け取りなさい。

エペソ 6:17

断食の二日目に、聖靈が私たちの人生でどのように聖書をメスとして用いられるかを学びました。今日は、神のことばの力を、悪靈である敵の欺きと誘惑を刺し通す剣として表現したいと思います。エペソ 6:10～18 で、パウロは靈的戦いの扱いについて聖書で最もわかりやすく説明しています。

ローマへの最初の滞在中、彼は二年間、ネロの裁判を待ち、二人の近衛兵の監視の中投獄されました。投獄中、パウロはおそらく何百というエリートのローマ兵たちから監視されたにちがいありません。エペソの教会に手紙を書いていたとき、彼は全く違った見方で武装した看守たちを見始めました。聖靈のインスピレーションにより、パウロは彼を捕らえた者たちの戦術、武器や武具が、靈的戦いの力強い比喩をあらわすことに気づきました。

監視兵の一人が装着していた短剣を見ていたとき、パウロは次のように書きました：「御靈の与える剣である、神のことばを受け取りなさい。」（エペソ 6:17b）ローマ兵の短剣は、64～78センチの長さでした。それは突き刺す武器として造られました。この箇所にある「ことば」はレーマであり、ロゴスではありません。レーマという言葉は、語られたまたは宣言された神のことばを強調します。つまり、神はあなたに、何層にも重なった敵の策略や欺きを切り通す御靈に油注がれたみことばを与えることを望んでおられるのです。イエスは荒野で悪魔に対して何度も御靈の与える剣を使われました。

すると、試みる者が近づいて来て言った。「あなたが神の子なら、この石がパンになるように、命じなさい。」イエスは答えて言われた。『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる』と書いてある。すると、悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の頂に立たせて、言った。「あなたが神の子なら、下に身を投げてみなだい。『神は御使いたちに命じて、その手にあなたをささえさえ、あなたの足が石に打ち当たることのないようにされる』と書いてありますから。」イエスは言われた。『あなたの神である主を試みてはならない』とも書いてある。」今度は悪魔は、イエスを非常に高い山に連れて

行き、この世のすべての国々とその栄華を見せて、言った。「もしひれ伏して私を拝むなら、これを全部あなたに差し上げましょう。」イエスは言われた。「引き下がれ、サタン。『あなたの神である主を拝み、主にだけ仕えよ。』と書いてある。」

マタイ 4:3～10

御霊の与える剣を用いる実践的な練習をする前に、靈的戦いの特徴的なしるしのいくつかを学ばなければなりません。あなたが直面している抵抗がただ自然なものではなく、悪霊のものであるとどのようにわかるのでしょうか。悪霊の攻撃は、強さ、濃度、そして／または極大化によって特徴づけられます。

強さ—あなたが直面している何かが、普通よりより強かったりより長いとき、それは靈的戦いのしるしであります。時に、靈的戦いは力強い波の形をもってやってくることがあります。たとえば、うつの波によって突然絶望感に引き込まれ、それはあなたが現在直面しているどのようなものとまったくつり合わない、といったものです。

濃度—普通でない濃度もまた靈的戦いのしるしと言えます。あなたのたましいにまとわりつく濃い霧、あなたと神との間、またはあなたと他の人々との間にある貫き通すことのできない壁です。

極大化—靈的戦いはまた、私たちの痛みと問題を極大化し、神の約束と力を極小化する傾向があります。

当てはめる

この性質が示すものに直面しているときはいつでも、聖霊に識別を求めましょう。もしあなたが直面していることが靈的なものであると感じるなら、御霊の与える剣を抜くときです。これはいろいろな方法でできます。

まず第一に、聖霊があなたに用いてもらいたいと願っているみことばを思いにおいてくださるよう、聖霊に求めることができます。第二に、あなたが直面している問題に対応したみことばを調べることができます。YouVersion (youversion.com)と Bible Gateway (biblegateway.com)の両方ともすばらしいコンコーダンス（用語牽引）であり、インターネットで入手できます。Bible Gateway はまた多数の聖書の訳の検索機能がついています。聖書を入手したら、みことばを大胆に宣言することによって、あなたが直面していることを刺し通し始めます。覚えておいてください。あなたがみことばを宣言すればするほど、それだけあなた自身の信仰も成長していきます。

- あなたは今までにどのような形の靈的戦いに直面してきましたか。

- どのみことばを用いますか。

- 礼拝し始め、二分間異言で祈ります。
- 信仰が成長していくなかで、聖霊が選ぶのを助けてくださったみことばを祈り始めます。それを二分間祈ります。
- もう二分間そのみことばを宣言することによって、あなたが直面している抵抗している領域をそのみことばで刺し通し始めます。
- 戦いがまだ続くなら、この戦略的サイクルを数回必要なだけ用いることができます。

祈る

このサイクルを完了したら、あなたの祈りを、あなたの牧師、地域教会、そして世界の必要に焦点を当てます。

- あなたの牧師と彼、または彼女の家族のために祈りましょう。
- あなたの教会のために祈りましょう。
- 27 ページにあるエブリネイションの六つの地域のうち、一つの地域のために祈りましょう。

明日は、神の声をきくことを学ぶことに焦点を当てます。

神の声を聞く

五日目

読む ヨハネ 10:4～5 ヨハネ 10:27

「彼は、自分の羊をみな引き出すと、その先頭に立って行きます。すると羊は、彼の声を知っているので、彼について行きます。しかし、ほかの人には決してついて行きません。かえって、その人から逃げ出します。その人たちの声を知らないからです。」

ヨハネ 10:4～5

「わたしの羊はわたしの声を聞き分けます。またわたしは彼らを知っています。そして彼らはわたしについて来ます。」

ヨハネ 10:27

今日のデボーションのすべては、あなたの神の声を聞く能力を成長させる助けとしてつくられた練習です。神の書かれたことばは、神が真理を私たちに伝える第一の方法ですが、今日は印象、幻、夢と聖霊の内なる声を通して神の声を聞くことに集中したいと思います。

携帯の比喩をもって神の声を聞くことを学ぶプロセスを描くことにします。携帯会社は無制限のデータ通信や完全な電波受信を約束しますが、めったにそれを受け取ることはありません。神は私たちが地球上のどこにいようと、ご自身の声の天の信号を送り届けることができます。そうであるなら、なぜ私たちは神の声を聞くことがそれほどまでに難しいのでしょうか。何といっても、神は「わたしの羊（クリスチヤン）はわたしの声を聞き分けます。」とおっしゃっているのです。

この質問に答える前に、まずあなたの携帯の電源を切ってください。iPhone であろうと、サムソンであろうと、他のブランドであろうと、この練習ではうまくいきます。次のことは覚えておくのに大切なことです。それは、このような練習以外にも、携帯はクリスチヤンが神の声を聞くうとするときに気を散らす最も大きな要因なのです。

電源ボタンを押すーあなたがどんなに素晴らしい携帯を持っていようと、電源が入っていないければ電話を受けることもできません。それは人間にも同じです。あなたの電源が「入って」いなければ、神との定期的なコミュニケーションはほとんど不可能といつていいでしょう。靈的に言えば、私たちの電源は、改心と聖霊のバプテスマを通してオンになるのです。改心する

とき、私たちの人間の靈が聖靈と再び一つになり、私たちは新しい性質を受け取るのです。このことによって再び神とのコミュニケーションが設立されるのですが、聖靈のバプテスマを受けることによって、私たちはより明確に神の声を聞くよう力強められるのです。

バイブルーション機能をオンにする一神の「着信音」はどのようなものなのかと考えたことはありますか。神が私たちに「電話をかける」とき、多くの場合神は感情、重荷や印象を用いられるのです。実際、それらは神が私たちにコミュニケーションされる最も基本的な方法なのです。私たちはみな、「神の臨在を感じる」とか「神が今日本本当にここにおられた」というような表現を聞いたり、または使ったりしてきたことでしょう。これらの表現は、このコミュニケーションのタイプの例なのです。

悲しいことに、私たちの多くは神を体験するこの基本的形式を決して離れることをしないのです。私たちは実際に神に話すことができるのに、神の臨在を単に感じることに満足しているのです。神が私たちのもとにわざわざ訪れてくださったのなら、おそらく何か言うことがあるに違いないのです。実際、神は多くのことを言わてきてているのでしょうか、私たちが単にそれらに気づいていないのです。靈の存在として、神はめったに聞こえるようにコミュニケーションすることはありません。私たちみなが神の声を気づきそこなう事実は、ヨブ 33 章に表現されています：

神はある方法で語られ、また、ほかの方法で語られるが、人はそれに気づかない。夜の幻と、
夢の中で、または深い眠りが人々を襲うとき、あるいは寝床の上でまどろむとき、
ヨブ 33:14～15

バイブルーション機能をオフにする－この節の観点から、神が私たちに言われていることをどのように見、聞くかの両方を学ぶことが重要です。今あなたの携帯のバイブルーションをオフにしてください。時に、神はあなたに話したいとき、ただあなたの名前を呼ばれるのです。ほかの時には、神はあなたに単に教えをいくつか与えるのです。それゆえ、神の声を聞き分けることを学ぶのは重要なのです。それは、あなたが神からの電話にただ出るだけであろうと、または神と親しい会話をしようともです。神は聞こえるように語ることができます、神はたいてい、私たちの意識された思いの内なる声を通して私たちに語られます。

1列王記 19:12 に、この神のコミュニケーションの形がかすかな細い声として記述されています。聖靈のこの内なる声は、おそらく使徒パウロがローマ 8:16 で「私たちが神の子どもであることは、御靈ご自身が、私たちの靈とともに、あかししてくださいます。」と言っているまさにそのものです。書かれた神のことば以外に、これが神がご自身の子どもたちにコミュニケーションされる第一の方法です。

これらのコミュニケーションの形がどのようになされるかを理解するのを助けるために、私が自分の子どもたちに主の声をどのように聞くかを教えたことから例を用いたいと思います。親とし

て、もし私が子供たちに主の声をどのように聞くのかを教えなければ、遅かれ早かれ彼らは主に話すことをやめると気づくのにそう時間はかかりませんでした。結局、話しかけても応答がかえってこないと、それは壁に向かって話しているのと違うではないのです。

私が子供たちに主の声を聞き、幻を見ることについて教えたとき、私は子供たちに自分の名前を大きな声で言うように言いました。それから、自分たちの名前が語られていることを想像するように言いました。彼らが自分の名前を想像したときに彼らが聞いた内なる声が、神の声ととても似ているということを説明しました。子供たちがその概念をつかんでから、私は毎晩彼らが寝る前に、神が何を思っておられるのかを神に聞くように教えました。

たいてい眠りへと誘う静まった黙想の間、子どもたちは主に焦点を当て、主が語られるのを待ちました。このプロセスを通して、私の実の四人の子どもたちは彼らの愛する救い主であり友達である方の声を聞くことを学びました。あなたにとってもこれは同じです。あなたが何歳であっても、もしあなたが信仰をもって信頼する子どものように神の御前に行くなら、神はあなたに自分の友と語るように語られるのです（出エジプト 33:11）。

神が私たちとコミュニケーションをとるもう一つの方法は、イメージや絵を通してです。幻の中にはほとんど本物のように見えるものもありますが、それらは一般的にその人の創造力のスクリーンに描き出されたイメージや絵なのです。しかし、何かを想像するのと違い、その人が作り出しているのではなく、そのかわりに神がそれを起こしているのです。夢に関しては、それらは単に神による幻です。これらのいくつかの例は、パウロがアナニヤが彼のために祈るために来るという幻をみたとき（使徒 9:12）と、ヨハネが夢の中で神から警告されたときです（マタイ 2:13）。

電波の問題—携帯の世界では、電波の良しあしは、携帯電話システム塔にどれだけ近いか、建物や木といった障害物、他のコミュニケーション塔からの妨害受信、または携帯電話の状態により左右されます。まず第一に、携帯電話の受信が携帯電話システム塔にどれだけ近いかにより左右されるように、あなたの神の声を明確に聞く能力も神ご自身と神の人々（教会）にどれだけ近いかに直接関係しています。覚えておいてください。神の声を聞くことは、ただのスキルだけではなく、関係です。それゆえ、あなたが神と質の高い時間をより多く持てば持つほど、あなたはよりよく神の声を聞くことができるのです。

ここでの質の高いという言葉は重要です。鍛錬と焦点を当てることがなければ、あなたの神との時間は無駄になってしまいます。私が鍛錬というとき、一般的な靈的鍛錬のことだけを言っているではありません。メディアにあふれた世界の魅力、またメディアに気がとられてしまうことすべてを取り扱うのに必要な鍛錬について言っているのです。いったん鍛錬されれば、私たちは神のことば、礼拝と神を待ちのぞむことを通して、自由に神に焦点を当てるようになるのです。私たちがどれだけ神の人々に近いかも重要です。健康的な地域教会を通した弟子づくり、メンタリング、交わり、整えられ、説明責任をおう関係がなければ、私たちは本物で持続する神との関

係をはぐくむうえで必要な土台を得ることはありません。加えて、神の声の天からの信号は、共同体での礼拝を通して大いに増し加えられ、静かな音楽が流れる中で神を待ち望み神に焦点を当てる中でより簡単に神の声を聞くことができるようになります。

携帯電話の内部の状態と質によって通話の質が決まるように、私たちのたましいの状態は神の声を聞くプロセスにとって重要です。ストレス、疲労、身体的病、疲労困憊、注意散漫や多忙といったものは、私たちが神の声を聞く能力に影響を及ぼします。あなたの靈的歩みは、あなたの身体、感情、そして知的状態がどうであるかによって深く影響されることを忘れてはいけません。告白していない罪によってあなたの良心が傷つけられたとしたら、それによってもまたダメージを受けます。

もしこれらのどの要因もかかわっていないなら、それはただ破壊的な妨害であると言えます。携帯でのコミュニケーションが他の電子信号によって影響を受けるように、敵ー空中の権威を持つ支配者ーは私たちが神の声を聞けなくするために彼のあらゆる力をもってかかってくるのです。

そのころは、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている靈に従って、歩んでいました。

エペソ 2:2

罪によって受ける汚れた感覚と違い、悪靈による抵抗はたいてい波あるいは壁という形をとってやってきます。波としては、典型的には非難、汚れ、恐れ、絶望感、または弱々しく感じるといった感覚で圧倒されます。壁としては、それが貫くことのできない壁のように感じます。四日目の「御靈の与える剣」で、悪靈による抵抗をどのように扱うかを話しました。

当てはめる

話すときー私たちの「電源」がオンになっているので、神様に私たちに電話をかけていただきましょう。

- あなたのたましいを静まらせ、深呼吸してください。あなたが神様を愛し、神様と話したがしたいことを告げましょう。神様のささやきが聞こえますか。
- 時間をとってください。2、3分、ただ待ちましょう。神様の声を聞く前に、神様を感じるかもしれません。
- もし神様の「着信音」を感じたら、ただ「主よ、あなたは私に何を言いたいのですか」と言いましょう。
- あなたが聞いていることを書き留めましょう。もし困難さがあるなら、信号の問題があるのかもしれません。

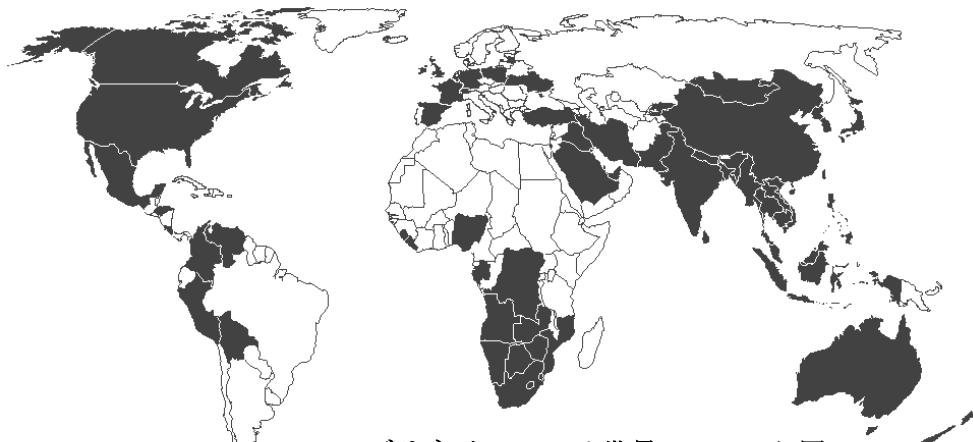
祈る

もう一度、実践しましょう。

- たましいを静まらせます。そして異言で礼拝し始めます。
- 一分後、神に語ってくださるよう願います。今回はより具体的になります。主に、あなたの牧師とその家族のためにどのように祈るべきかを聞きましょう。
- もしかしたら主はあなたが標的とした抵抗している領域に関して何か言わんとしているかもしれません。
- この練習を終えるにあたって、あなたの教会と今日あなたが選んだ一つの地域（27 ページ）のために祈りましょう。

今、2017 年の世界的祈りと断食の終わりがやってきました。あなたが育成させてきた靈的スキルは、あなたの人生を変える力を解き放つ可能性を持っています。一、二週間待ってから、この五日間をすべてもう一度（デボーションで、必ずしも断食ということではなく）したいと思うかもしれません。最後に、これらのデボーション（とそれに伴う練習）は、あなたの靈的スキルに磨きをかける以上のものです。これらは、あなたの救い主を知り、彼を周り知らせるようにという、主の誘いに応答することなのです。私は、今年があなたにとってキリストにおいて最も素晴らしい年になるように祈っています。

国々のために祈る



エブリネイションは世界の 196 か国のうち 73 か国に教会とキャンパスミニス
トリーがあります。あと 123 か国です！

地域 _____

アジアとオセアニア
アフリカ

ヨーロッパ
ラテンアメリカ

中近東
北米

祈りのポイント

すべての国に福音をもたらすためにドアが開くよう祈る。

わたしに求めよ。わたしは国々をあなたへのゆずりとして与え、地をその果て果てまで、あなたの所有として与える。

詩編 2:8

すべての国とすべてのキャンパスに行く働き人が与えられるよう祈る。

だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。

マタイ 9:38

私たちの牧師たちとキャンパス・ミニスターたちが福音を大胆に告げるよう祈る。

また、私が口を開くとき、語るべきことばが与えられ、福音の奥義を大胆に知らせることができるよう私のためにお祈ってください。私は鎖につながれて、福音のために大使の役を果たしています。鎖につながっていても、語るべきことを大胆に語れるように、祈ってください。

エペソ 6:19~20

私たちの教会とキャンパス・ミニストリーが影響力と数字において成長し続けるよう祈る。

こうして神のことばは、ますます広まって行き、エルサレムで、弟子の数が非常にふえて行った。そして、多くの祭司たちが次々に信仰に入った。

使徒 6:7